

令和 2 年度 宇佐市市長賞詞受賞者

No	表彰区分	団体名	設立年月日	住 所
1	市長賞詞	大分県立宇佐産業 科学高等学校	明治 34 年 (1901 年)	宇佐市大字四日市 292
<p>宇佐産業科学高校・工業クラブは、電子機械の知識・技術を高め、ロボット競技全国大会出場を目標に、平成 30 年(2018)年 4 月に設立されました。</p> <p>高校のスローガン「地元で学び、地元で貢献、地元と共に」を基に、部員が培ってきた技術を活かして、平成 30 年に平和ミュージアム開設の応援に掩体壕ジオラマの制作、令和元年には JR 柳ヶ浦駅改修工事をうけての「まち家具ベンチ」の製作、と地域貢献に進んで取り組まれました。</p> <p>そして、本年は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い医療現場を支援しようとフェイスシールドの制作に取り組まれ、同年 7 月、贈呈先の看護師の方の声をきっかけに「パテントコンテスト(※)」へ応募されました。</p> <p>その結果、応募総数 880 件のうち県内で唯一となる優秀賞を受賞、さらには、新しい生活様式に役立つアイデアや優れた作品に贈られる主催者賞「新しい生活様式アイデア賞」をも受賞されました。</p> <p>優秀賞に選ばれた発明は特許出願支援の対象となり、同クラブでは弁理士の指導のもと 3 月 7 日までに出願手続きの完了を目指しています。また、特許の取得ができれば必要な人に無償で技術を提供されるということです。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大による社会環境の変化の影響を自らも受けるなかで地域に貢献しようと自分達の持つ技術を活用し、その発明が全国的コンテストで輝かしい成績を収められたことは市民の誇りであり、さらに、その技術を一層広めて社会貢献を進めようとする同校の姿勢は本市における新しい生活様式の推進に大きく貢献されています。</p> <p>その功績に対しまして、市民の栄誉と喜びとして讃える「市長賞詞」を贈呈いたします。</p> <p>※パテントコンテスト …生徒、学生の知的財産マインドの向上や知的財産権制度への理解の深化を目的に、平成 14 年度から開催。文部科学省、特許庁、日本弁理士会、(独)工業所有権情報・研修館主催。高校生、高等専門学校生、大学生等を対象に自ら考え出した発明を募集し、特許法上の発明に当たるか、産業上の利用可能性があるか、先行技術の有無等を審査。審査で優れた発明と認められたものは主催者賞及び優秀賞として表彰され、優秀賞は特許出願支援対象となり、特許取得に関する費用や弁理士の相談の支援が受けられる。</p> <p>(令和 2 年度パテントコンテストパンフレット、(独)工業所有権情報・研修館ホームページより)</p>				